

山中比叡平

子ども図書館だより

2018年11月22日発行 (第4号)

「子ども図書館」は 1周年を迎えました！

昨年文化祭の日子ども図書館は発足しました。

それから1年で蔵書数は2937冊に達しました。ほとんどが住民の皆さまから寄贈していただいた本です。また、入館者数は子ども376人、大人294人、合計640人、貸出冊数443冊にのぼりました。

これからも地域の「子ども図書館」としてみんなに親しまれる場、子どものいこいの場となるよう努力してまいります。よりいっそうのご支援をお願い致します。

11月4日文化祭に移動図書館

子ども図書館は文化祭に参加し、移動図書館を開きました。



「図書館だより」で紹介した絵本や物語、民話・昔話などの図書を中心にした本を展示するとともに、「子ども図書館」の立て看板や間違い探しクイズなどを会場に持ち込み、移動図書館を設営しました。

来られた方の中には「知らなかった。どこにあるのですか？」とたずねられる方、「本をもって来ただけですけれど…」と寄贈して下さる方、もちろん本を借りていかれる方など、いろいろな方がいらっしゃいました。

いろいろな方とふれあえ、少しでも「子ども図書館」のことを広めることが出来たようです。有意義な1日でした。



どの本よもうかな？ その1

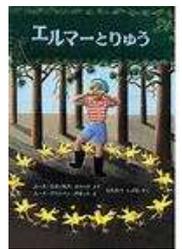
『エルマーの冒険』三部作

- 1 エルマーの冒険
 - 2 エルマーとりゅう
 - 3 エルマーと16びきのりゅう
- ルース・スタイルス・ガネット 作
ルース・クリスマン・ガネット 絵
福音館書店 933



『エルマーのぼうけん』シリーズは、りゅうの子を助けに行った9才の男の子エルマーが、機転をきかせて危機をのりこえていく冒険物語です。1948年から51年にかけてアメリカで出版され、半世紀以上たった現在でも多くの子どもたちに愛されています。

幼い頃からお話を考えるのが好きだったルース・S・ガネットさんは、22歳のときに『エルマーのぼうけん』を書き始めました。秋からスキー場のロッジでアルバイトをしていた彼女は、雪が積もるまでの間、お話を書くことにしたのです。



さし絵を手掛けたのは、彼女の父親と再婚し、義理の母となったさし絵画家のルース・C・ガネットさん。母娘の共同作業で『エルマーのぼうけん』が生まれたのです。

12月子ども図書館 開館予定

(午後1時30分～午後4時30分)

日	月	火	水	木	金	土
						1
②	3	4	5	6	7	8
⑨	10	11	12	13	14	15
⑬	17	18	19	20	21	⑲
⑳	24	⑳	㉑	27	28	29
30	31					

1月は6日(日)より開館します。

どの本よもうかな？ その2

昆虫の迷路 香川元太郎 PHP 913

昆虫の国へいってみようよ。迷路をぬけて、どんな虫たちにであえるかな？「チョウの花園」や「アリの地下街」にある迷路を通りぬけ、かくしえをみつけよう！ 昆虫の名前や生息時期・環境も楽しく学べる1冊。

かいけつゾロリ シリーズ

原ゆたか ポプラ社 913

かいけつゾロリのはちやめちやテレビ局
かいけつゾロリのはちやめちやチョコレート
かいけつゾロリのはちやめちやスパイと100本のバラ
かいけつゾロリのはちやめちやきょうふのカーレース
かいけつゾロリのはちやめちやテレビゲームききいっぱつ
かいけつゾロリのはちやめちやけっこんする！？
かいけつゾロリのはちやめちやようかい大リーグ
かいけつゾロリのはちやめちやきょうふのプレゼント

ローワンと魔法の地図 エミリー・ロッダ

あすなる書房 933



リンの谷を流れていた水が止まり、川の水しか飲まない家畜のバクシャーは、日に日に弱ってくる。謎を解くため、少年ローワンは水源のある魔の山に向かうが…。スリルあふれる冒険ファンタジー。

鬼の橋 伊藤進 福音館書店 913

平安時代の京都。妹を亡くし失意の日々を送る少年篁は、ある日妹が落ちた古井戸から冥界の入り口へと迷い込む。そこではすでに死んだはずの征夷大将軍坂上田村麻呂が、いまだあの世への橋を渡れないまま、鬼から都を護っていた

天国へいったサーブ 続・盲導犬サーブ物語

手島悠介 講談社 369

みんなに愛されたサーブが死んだ。盲人と盲導犬のための奉仕の日々、そして、子どもたちに囲まれてすごした幸せな日々。これは、わたしたちにたくさんの思い出を残してくれた盲導犬サーブの、その後の全記録です。

七つのぼけっと あまんきみこ 理論社 913

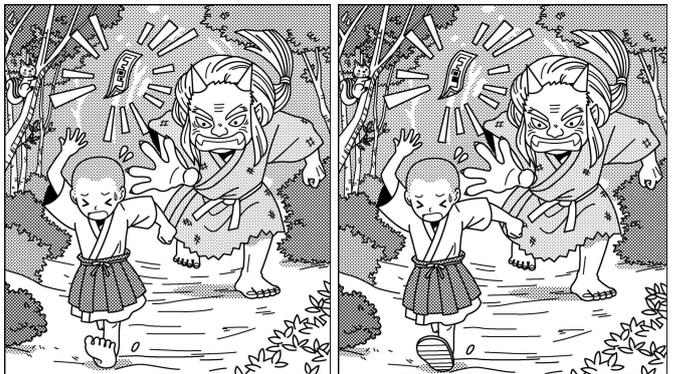
ぼけっとのなかにはいっているとっておきのおはなし七つ。みずみずしいことばのひびきを声にだしてよんでみてください。短編童話集。

バッテリー あさのあつこ 教育画劇 913

「あいつ、才能ありますよ。永倉となら、バッテリー組めるから」たぶん、最高のバッテリーになる。なんの前ぶれもなく、そんな思いが胸をゆさぶった。身体の中で、なにかがはじけたほど強く、思った。



やまんばがものすごい勢いで追いかけてきました。小僧は、おふだに願いをこめて「えいや」と投げつけました。下の2枚のイラストには5つのまちがいがあります。いくつ見つけられるかな？



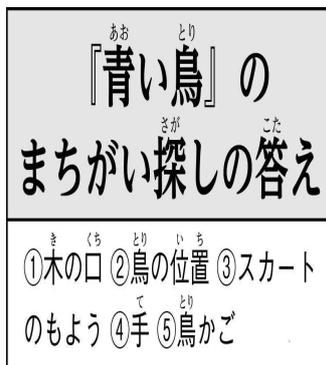
日本・世界の
お話しカード

小僧はやまんばから
にげ切れるのかな？

『三枚のおふだ』

昔、寺の小僧が山に行き、そうとは知らずにとめてもらったのはやまんばの家でした。やまんばだと気づいた小僧は、小僧がしたいと気づいた小僧は、便所へ行き、おしよから守りに持たされた三枚のおふだのうち一枚に身代わりをたのみにげました。するとすぐ

にやまんばは、うそを見破り追いかけてきました。次に小僧が「大の川出ろ」とふだを投げると大きな川が出ましたが、やまんばはぐびつと飲み干してしまいました。「火の海出ろ」と三枚目のふだを投げて出た火の海も、やまんばはさつき飲んだ川の水を、はいて消してしまいました。寺に逃げ帰った小僧はおしよに助けを求めます。おしよはわざと比べをもちかけ、豆に化けたやまんばを、ペロりと食べてしまいましたとさ。



①木の口 ②鳥の位置 ③スカート
④手 ⑤鳥かご

子ども図書館連絡先

林怜子	090-3715-9117
福田孝男	090-1025-5151
小山秀樹	080-1495-8228